



シンボルマーク
と標語

まちづくり委員会広報

千僧供町

・かよい合う 心でつなぐ まちづくり
・いにしえの 千僧の村 皆のまち

編集発行

〒523-0016

近江八幡市千僧供町

会議所内

まちづくり委員会

TEL(0748)37-1234

広報部担当

小川 博久

第2号

と的にとす柄れ混や住良 てみめい とい活とのげ町よい 協引継
受な散し。でたまるみ田本もがらよ今年思と動標指てまい方昨力きい平
け行在てまあ通ずないよ地町大行れ本度い議と目語針いちま々年を続で成
継事し多たつり千千僧僧、昔なれる一部は二思論とがいたづちによ(一五)き一六
がや、く、た、事、当、僧、供、交、から待事の活二は、す。重針さ、シ、この、願、方、度、の
れ祭文の古事は町供、通、水、を、業、事、動、目、に、入、り、議、論、を、い、組、深、よ
て、が、に、墳、か、事、は、恵、馬、淵、、照、嫁、し、た、。し、組、深、よ
住、現、お、や、史、栄、だ、と、れ、と、土、云、わ、ず、に、て、た、。し、組、深、よ
民、在、い、跡、え、が、思、た、と、云、わ、ず、に、て、た、。し、組、深、よ
の、ま、て、も、が、各、地、い、土、云、わ、ず、に、て、た、。し、組、深、よ
手、に、永、伝、所、域、ま、地、わ、ず、に、て、た、。し、組、深、よ

広報発行にあたって

若い皆さんの
「住みよいまちづくり」
に期待します

自治会長 小川 延司

期供分先すて枚1のど れしん てて我す改とのま活み地思真でねくこ々濟たい今和 っ
待町議を。大橋ト五ん本るてがそ活活がる革すのす動よにい剣魅まなが環ずて日のして
し「論見こき地ル月ど市こ住れ動動町ソやる生活。しいおまに力せりが境、はで高か守
てをさ据うく先道にんにとるみにささでフ生ハ環そて町いす考あん衰多をのま町は度し
い築れえし変が路は都におもかよはれるど面習ドや手らしは既るま今すなてあや成地成ら
す。いみ若でよの通にがもかンち度とからの活改善住整備は、山あがでのとてなかな
だい皆年と玄、じむ南思1は何民のす。定期さめい、と識う域りり住各とてなかな
くまんらて口町一の八、心す。さ待さめい、と識う域りり住各とてなかな
と千で十いとの八、心す。さ待さめい、と識う域りり住各とてなかな
を僧充年まし六メこに。さ待さめい、と識う域りり住各とてなかな



ご協力
ありがとうございます
ございました
「標語看板
できました」
千僧供町まちづく
り委員会の標語の看
板作成に協賛してい
ただいた店名を掲載
させていただきます。
(順不同・敬称略)
ハートランド
推進財団
浅野医院
坂小川組
すずらん美容室
大与工務店
富永歯科医院
長門産業(有)
馬場酒店
フジイ薬局
松村商事
以上

マークの
意味

まちのシンボル供養塚古墳をベースに、中央に椿の花を配したこのマークは、『完璧な魅力と誇り、つつしみ深くて気取らない優美さ』の意味をもち、魅力ある町にとの思いを表現しています。



前回、広報誌発刊の時に看板のサンプル作成を報告しておりましたが、それ以降スポンサーをご依頼しておりましたところ。一〇事業主様からのご協力が得られましたので、一〇枚の看板作成に取り掛かりました。

シンボルマークの貼り付けに關しては、雨水の浸透が若干みられたので改善を行い、より鮮明なものにしました。また、文字体を標語の内容により二種類を使い分けて印象深い標語として心に残るよう考えました。

まちづくり委員会
各グループ活動状況

「標語看板作成グループ」

松本 繁、小川 敏秋
児玉 智広、小川 春夫



設置された看板

「KJ法研究グループ」

藤居 剛

小川広司、小川公子

まだ、スタッフでは、KJ法をうまく進められません。KJ法の進め方の理解をふかめるために、「若い人が住みやすい生

看板の設置場所については、千僧供町内の意識高揚を第一と考え、町内の皆さんの利用の多い町内道路沿いに設置をいたしました。

今後看板が壊れたり標語文字がはがれたりすれば修繕をしながら、千僧供町のまちづくり活動の出発点と考え、常にきれいな「標語の看板」を維持していきたいと思います。

「住宅案内板作成グループ」

久郷 勇

小川 敏信、小菅 好美
坂田美智代、富永美奈子



「マップ作成グループ」

小川敏博

馬場和美、中島英美
小川薫、河村記代美

現在まで資料集め、マップ記載場所の写真撮影などを行ってきました。今後の活動は写真撮影を含め記載場所のいわれなどを調べて行く予定です。

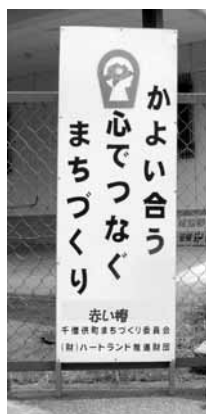
また、千僧供町の歴史に詳しい方にお話などを聞きに行きたいとも考えています。当初の計画より少し遅れていますが少しずつ進めて行きたいと思っています。

「広報グループ」

小川博久

小川由一、馬場茂喜

本年2回目の発刊をできたことをうれしく思います。紙面の原稿や意見をお願いします。紙面のうちよく引き受けて下さり喜びとともに、まちづくり委員会に対する期待が大きいことを実感します。活動内容などがわかりやすい紙面にしていきたいと思います。「皆さんの声」の投書に答えられる範囲で、疑問にも答えていくつもりです。皆さんの暖かいご支援をお願いします。



千僧供の地名由来

温故録には、千僧供は千・十
ともいうとあるが、今少しこれ
については詳びらかでない。

① 千僧供村は、平安時代、延暦寺の莊園であり、日吉神社の祭神「十禪師権現」との旧称で坂本(日吉神社の分社である椿神社)の明治以後の社号が置かれたのも当然である。延暦寺の莊園で千僧供養の料田であった、たびたび供養料を延暦寺に納めていた供養料が地名の由来の一つであろう。平安末源平盛衰記によると、平安末寿永2年(一一八三)平氏一族が連署して延暦寺に送った起請文(誓詞)に、亡き平清盛の菩提のために佐々木しよ盛(園役)の千僧供村の得分(莊料)として寄進して、長期にわたる中世を通じて、古代・里この関係が続いて、浄土の江与地誌略によると、千僧供の民間僧の空也上人が千僧供養を行ったと云われる。第五十五代文徳天皇の不運の第一皇子帷親王が流離の末この地に葬られ、千僧供養が営まれたとあり、その塚が供養塚古墳と云う説があるが、時代が合わず疑わしい。安楽坊が鎌倉時代法然上人の弟子蓮坊がこの地で、安楽坊が六条河原で誅せられ古墳に葬られその菩提をとむらうため千人の衆僧を招じ法事を営み供養したという。

易行寺パンフからは、

が六条河原で誅せられ古墳に葬られその菩提をとむらうため千人の衆僧を招じ法事を営み供養したという。

⑥ 法然上人の弟子であった住蓮房安楽坊が処刑されて以来、両上人のお徳を慕う人々が寺院を建立し安楽寺と名付け、池を住蓮池と名付けて千人の僧を招き、七日七夜供養した。このことがあって千僧供村と言いうようになった。元禄二年秋、現在の地に塔を二基造立した。(馬場家に伝わる江州蒲生郡馬淵村御僧塚縁起による)

⑦ 貞観一七年(八七五年)頃、諸国に悪病が流行し大勢の犠牲者がでた。惟喬親王が近江国君ヶ畑へ巡錫されたとき病苦の悲惨さに心を痛め「曼荼羅坊」(大同三年「八〇八年」行基菩薩開創千僧供廃寺と称す)に滞在し千人の僧による病魔退散の祈禱供養をした。故に、地名も「千僧供養村」と称するようになった。(冷泉寺の寺歴による)

伝承いずれも興味深い地名由来の「千僧供」の示す地名は、古代・中世における政治・経済・社会的地位と性格を表すものであり、仏教的雰囲気と古代文化のゆかしさを伝えるものと云えよう。

みなさんからの声



子どもも大人も皆が「千僧供」の町づくりにについて考えられるってすばらしいと思います。特に子ども達が大きくなつて「私小さい時にあそこでこんなことして遊んだねん」「こんなことしてすごく楽しかったなあ。」等我町千僧供町に誇りと親しみを持ってくられるような町づくりに大人が地域ぐるみで取り組んでいかねばと強く思います。そのために私達一人一人が自分の思いを町づくり委員の方々に伝えていくことが必要ではないでしょうか。町づくり委員の方々が活動しやすいよう私達ももっと声をあげていきまは、声の吸い上げをよろしくお願いします。(Aさん)

千僧供は古い町で堅苦しいイメージがあったのですが、最近では生活改善などでずいぶん若い人たちが住みやすい環境になって来たように思えます。町内は静かですが、暗くなると所だと思えますが、公園の遊具の安全性など気になる点があります。

先日、千僧供町グラウンドゴルフ大会に久し振りで出席しました。顔見知りの人も大分増え楽しい一日でした。町づくりには人と人の交流が基本にあると思います。出会った人と挨拶を交わし言葉を交わし、そこから生まれる交流を大切に町づくりが出来ると期待します。先日は大勢の人の協力です。住蓮坊古墳の清掃が行われました。倒れかけていた松の木もまっすぐになりました。道の曲がり角の花壇、橋の欄干の花、地域の美化も町づくりの大きな役割を担っていると思います。(Iさん)

千僧供町には立派な資料館が町内の中心に建っている。今は倉庫として扱われている。この際に資料館として使用し、欲しい。町づくりするに、まず千僧供町の歩みの経過、書物、出土品、珍品等を資料館に陳列して町内の人達に知らせるようにして関心を持つて頂けるように第一段階として取り組んでほしい。これらのうまく出来たら村おこしの源になるように千僧供町に相応しい計画を立案され実行して頂きたいと思えます。(Mさん)

いくつかあるので少しずつでも改善されればと思います。(Yさん)

千僧供探訪

② 住蓮坊古墳

(県指定文化財史跡)

昭和五五年営圃場整備事業に先立って発掘調査がおこなわれた結果、直径五十三メートルの県下でも屈指の大型円墳で、同心円でなく、変則形状の周濠が巡らされていたが、現在は、耕地化されて無くなり、その周濠跡からは県下最古式の須恵器が出土しました。現在古墳上には住蓮房と安樂房の墓がある。

「参考文献」

馬渕学区歴史のあゆみ

住蓮房・安樂房

当時の仏教は、貴族仏教とも言われたように権力者や貴族達だけのものではあった。ところが法然上人は、末法の時代にあつて、すべての人は、平等であり、すべての人は「南無阿弥陀仏」に救われると説いたので、新興階級の武士や農民、あるいは救いの対象から漏れていた女性達に広く受け入れられ、念仏仏教が大変な勢いで盛んになった。

法然上人の説く専修念仏が広まるにつれ、古くからある南都北嶺の仏教教団は、新興の法然上人の教えを、国家の秩序を破り道徳を乱すものと決めつけ、



教団を黙認するわけにいかず、
 元久元年（一二〇四年）十月、
 北嶺の僧侶が比叡山の大講堂に
 集まり、天台座主真性に念仏を
 申してはならないとする「専修
 念仏停止」を訴えた。
 これに対し、法然上人は「七
 個条制誡」を門弟達に示し、念
 仏の自粛戒慎を守る百九十名も
 の門弟の連署（住蓮房が十六番
 目・安樂房が三十一番目・親鸞
 聖人が八十七番目に署名）を座
 主に提出した。
 元久二年（一二〇五年）、今
 度は南都興福寺の僧侶が北侶の
 処置は手ぬるいとして、専修念

仏の全面停止を時の権力者である後鳥羽上皇に訴え出た。浄土宗元祖法然上人の弟子、住蓮房・安樂房は上人の教えに従い、不断念仏。浄土礼讃を修道していった。



住蓮房・安樂房木造

（易行寺安置）

蓮房・安樂房は別時念仏会を開き、上人の修する浄土礼讃声明に魅了され、出家して仏門に入る者さえあった。その中に後鳥羽上皇の女官松虫姫・鈴虫姫がいたのである。両姫は容姿端

麗、教養も豊かであつた事から上皇から可愛がられたため、他の官女の嫉妬も相当なものであつた。おりもおり、建永元年（一二〇六年）七月、上人が紀州熊野へ行幸の際に、一日暇をもらつた両姫は、清水寺に参拝し、その帰り「鹿ヶ谷草庵」において法然上人の説法が忘れられて、両姫は、秘かに申し合はせて夜更けに御所を忍び出て「鹿ヶ谷草庵」を訪れ、住蓮房・安



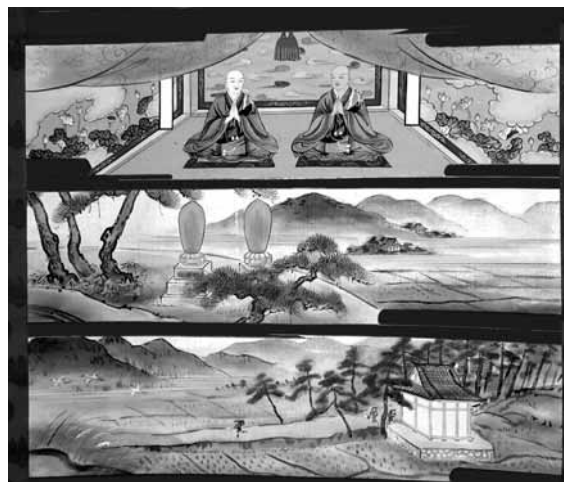
樂房に出家授戒の願いを申し出た。両上人は、出家するのであれば、上皇の許可が必要とその思いを止まらせた。しかし、両姫は、決死の出家の願いに両上人も心を動かされ、ついに住蓮房は松虫姫を、安樂房は鈴虫姫を剃髪した。時に松虫姫は十九才、鈴虫姫は十七才であった。この事を知った上皇は激怒し、この出来事を一つの口実として専修念仏教団の弾圧を企てた。翌建永二年（一二〇七年）二月九日住蓮房を近江国馬渕（現在の近江八幡市千僧供町）

において、安樂房を京都六条河原（現在の東本願寺近く）において打ち首の刑に処した。この迫害は、これに止まらず、専修念仏の指揮者である法然上人を讃岐国（現在の香川県高松市）に流罪にし、師弟の親鸞聖人を越後国（現在の新潟県直江津市）に流罪の刑に処した。

住蓮房・安樂房の亡き後、「鹿ヶ谷草庵」は荒廃したが、流罪地から帰京した法然上人が両上人の菩提を弔う為に「住蓮山安樂寺」を建立し追善の寺とした。

その後、幾度かの荒廃を繰り返したが、現在地（京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ二一）において祀

住蓮房・安樂房掛軸二軸（易行寺）



かつて中仙道わきにあった堂が明治二九年（一八九六年）の台風によって壊れ、以後祀っていた二人の木像を移して安置し、位牌ともに供養しているのは、浄土真宗・供養山易行寺である。また、お墓から北に二百メートルの所には住蓮房の首を洗ったという「首洗池」がある。

四
か
ら
六

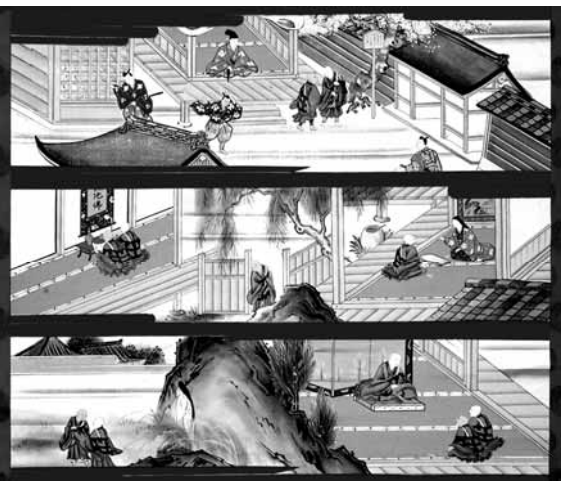
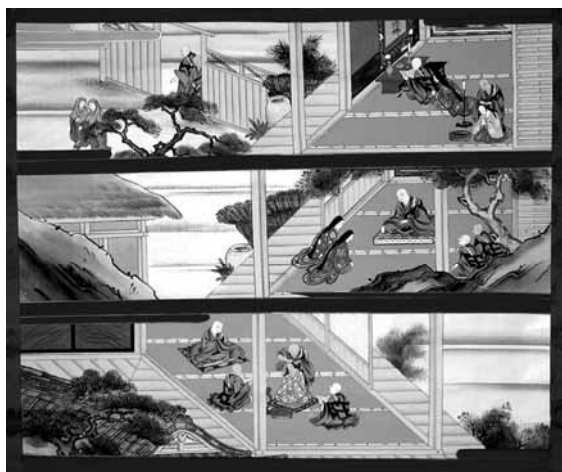


処刑について

(小川延司氏 記)

二位法印尊長沙汰とあるが、なぜ二位法印尊長がこの地を処刑場としたのか説明されていない。一説によると「源平盛衰記」に「平家延暦寺願書事」の項に「寿永二年（一一八三年）七月十

七から九



九日平宗盛より「近江国佐々木領千僧供料」として叡山の直轄領地としたとあり、

あった。この事が起因し当地で処刑されたものと推察される。

辞世の句

「極楽へまいらんことの嬉しさに身をば仏に任せ塗るかな」
安楽房

「このほどのかくし念仏あら
われて阿弥陀に引かれて西へ
こそ行け」 住蓮房

「参考文献」

住蓮房安樂房墓所（易行寺）

資料提供ありがとうございました。

おゆずりします

メダカがたくさんいます。
大事に育て下さる方にお
ゆずり下さるのことで

免（ゆるし）さん
までご連絡下さい。

編集後記

まちづくり委員会の活動内容を少しでも、皆さんにお知らせできればと思います、またいろんなご意見をいただければと考え、広報を発刊しました。皆さんのご力添えを今後ともよろしくお願いして、第二号の発行の御礼といたします。

県指定
史跡

住蓮坊古墳

(古墳時代中期・円墳・昭和59年3月史跡指定)

当古墳は、昭和57・58兩年度に実施された県営圃場整備事業に先がけて行われた発掘調査によって、その規模等が明確となった。

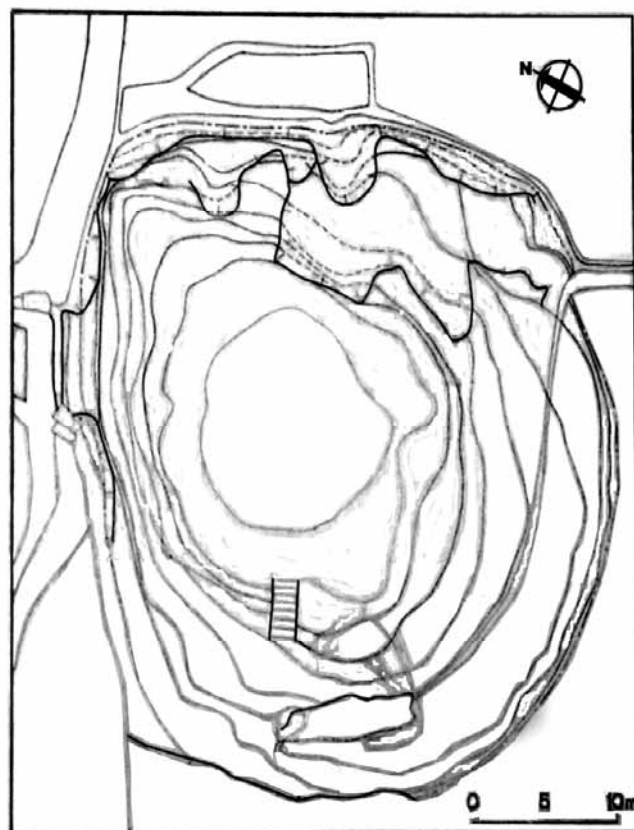
墳丘は一段築成で、直径53メートルを測る県下でも屈指の大型円墳である。周濠は、墳丘に対し同心円状の形態をとらず、変則的な形態を示し注目される。主体部については、調査事例がなく不明である。また外部施設としての葺石や、埴輪は認められない。

なお、遺物としては、円濠内より県下でも最古式(約1500年前)の須恵器が2例出土しており、築造期が古墳時代中期であることが知れる。

当古墳頂上部にある二基の墓は、江戸時代に建てられたもので、鎌倉時代当地で処刑されたと伝えられる、法然の弟子住蓮と、同じ時京都で処刑されたと云う安樂の二僧を弔うためのものである。

昭和61年3月

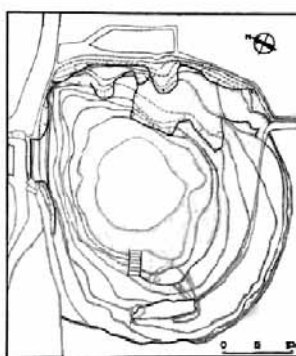
近江八幡市教育委員会



住蓮坊古墳実測図



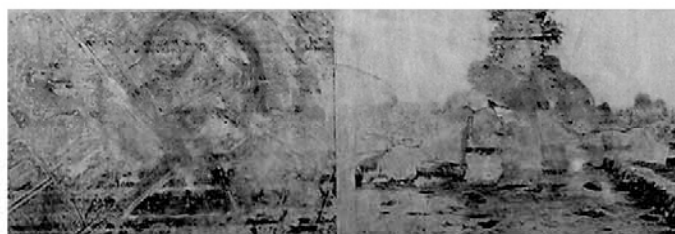
上空より見た住蓮坊古墳



住蓮坊古墳実測図

せんぞくこふんぐん
県指定史跡 千僧供古墳群 (住蓮坊古墳・供養塚・岩塚・トギス塚)

千僧供古墳群は、今から約1500年前から約1400年前にかけて築造された当地域の有力豪族の墓である。当古墳群は10基の古墳の存在が伝えられているが、今日では5基の古墳が残されているにすぎない。このうち上記4基が県史跡となっている。



供養塚古墳

岩塚古墳

滋賀県指定史跡 千僧供古墳群 住蓮坊古墳
昭和五十九年三月三十日指定
住蓮坊古墳は、千僧供古墳群の東北方に位置し、墳丘径五十三メートル、堀を含めると総九十三メートルにもおよぶ県下でも最大級の円墳である。
墳丘は段築の痕跡を有し、比較的良好に遺存しているが主体部などは不明である。また、現在のところ、外部施設である葺石・埴輪などは認められていない。
堀の部分からは、古式の須恵器が出土しており、その形態の特徴から西方に位置する供養塚古墳よりもさらに古い時期(五世紀中頃)に属する在地の首長墓として位置付けられる。

平成二年三月

滋賀県教育委員会

